

小山市立生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会委員委嘱状交付式  
令和4年度第1回小山市立生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会  
議事録

■日時：令和4年4月26日（火）

■時間：10:00～11:30

■場所：小山市立文化センター 小ホール

■出席者：18名（別紙1名簿の全委員出席）

■事務局：小山市教育委員会 生涯学習課

（濱口教育長、上野教育部長、宮田生涯学習課長、川俣同課課長補佐兼生涯学習係長、  
同係酒巻主査、田中（絵）主査、堀主査、児矢野主査、大巴主事）

## 1 委嘱状交付式

濱口教育長より、代表者として名簿N0.1の委員に委嘱状を交付。

## 2 教育長挨拶

## 3 懇話会

### （1）開会

### （2）委員・事務局 自己紹介

### （3）会長・副会長選出

小山市生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会設置要領の第5条「会長及び副会長は委員の互選により定める」に基づき、委員の互選により以下のとおり決定した。

会長：陣内雄次委員（宇都宮共和大学シティライフ学部教授）

副会長：鈴木久美子委員（社会教育委員委員長）

### （4）議事及び事務局説明事項

#### ① 【論点整理Ⅰ】（下都賀教育事務所ふれあい学習課）

「生涯学習概論・国・県の生涯学習施策について」

下都賀教育事務所ふれあい学習課鈴木正俊委員の講話。資料2をもとに説明。

以下講話まとめ

- 生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。（教育基本法 第三条 生涯学習の理念（平成18年新設）より）
- 教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育施策の中心に据えて取り組む。（第3次教育振興基本計画より）
- 「生涯にわたる学びの機会の充実」⇔「学びを高めるつながりづくり」⇔「学びを生かした地域づくり」による学びの循環と生涯学習推進の基盤づくりの重要性（栃木県生涯学習推進計画2021～2025より）
- 平成30年に内閣府が行った生涯学習に関する世論調査によると、この1年間に学習したことがないと回答した人の割合は、41.3%であった。その理由の多くが「きっかけがつかめない」というもの。共生社会の実現のためにも、障がい者や外国人なども対象とした「多様な」学びと、学びへ向かうためのきっかけづくりが大切になってきている。多様な学びを1つずつ紡いで、学びの成果を適切に生かすことのできる取り組みや仕組みづくりを多様な関係者が連携して進めていく必要がある。

1人1人の個性と多様性が尊重されて、家庭で・地域で・職場で、それぞれの能力を発揮して、生きがいを感じることでできる社会の実現に向けて、生涯学習が重要になってきている。「皆さんは、小山市の生涯学習の未来にどんな種を蒔きたいですか？」（フラワーアレンジメントの事例より）

## 2 本懇話会開催の目的・趣旨

事務局より、資料3をもとに説明。

## 3 今後の検討体制

事務局より資料4をもとに説明。

## 4 本懇話会の開催スケジュール案

事務局より資料5をもとに説明。

### 【質疑応答】

#### A委員

資料3のP4の4小山市立生涯学習センター事業の評価と課題について、コロナもあってなかなか現状難しいという説明があったかと思いますが、あまり芳しくないという評価をいただいているということですね。

近年、小山市生涯学習センターの指定管理者の選定について、競争というのはどのくらいあったのかを教えてください。1社しか手を挙げていなくてそこに出すしかなかった状況だったのか、あるいは競争し合う中でこの業者に決まったのかという部分について伺いたいです。なぜかという今後の大きな方針の部分に関わってくるのかなと思っておりまして。市民が運営するか、事業者が運営するか、協働型かというなかで、運営団体側が何社か競争し合う状態になっていて、そこで切磋琢磨し運営能力を上げていくということはあるかと思うのですが、そもそもそういう状態ではなくなっているのかどうかというのを参考までに。指定管理者を選定する中で競争があったのか、なかったのかというところを前もって知っておきたいと思い質問しました。

#### ⇒事務局

評価に関しては、こちらの資料には不足があると記載していますが、指定管理の決められた評価につきましては、私どもはA評価をつけております。

競争については、小山市の指定管理の決まりに基づき、当時は5社出ておりまして、そこで競争を行った結果が今の事業者となっております。

#### A委員

ということは、今担当している事業者さんを否定しているのではなく、改めて中央の生涯学習のあり方というのを大前提に議論しようということですね。

#### ⇒事務局

おっしゃるとおりです。

## B委員

私が今までいろいろな街の生涯学習について勉強してきた限りでは、たぶん生涯学習センター云々ということ論じるときに、生涯学習全体の仕組みがどうなっているのかというのが重要だと感じていまして。これまでの市内の生涯学習関連施設同士の連携、例えば小山市文化センターと小山市生涯学習センターと各市民活動交流センターの連携がどのようにされているのか。その連携がある程度できていれば、建物の規模や集約できる人数に応じて学習のすみわけも行うことができる。それができていなかったからこういう話が出たのかなというのもありまして、その辺がどうなっているのかについて教えてください。

## ⇒事務局

これまでの全体の仕組みに関しまして、生涯学習センターについては特に連携はございません。あえて申し上げるならば、生涯学習センターと生涯学習課がつながっていたということになります。将来的には公民館や市民交流センターといったところと連携していきたいというところがございまして、その部分については次回第2回の理念の部分で具体的にお示しさせていただきたいと考えています。

## B委員

これまでうまく連携できていなかったということが確認できました。

また、先ほどの資料3の説明の中で、もともとの理念と今の内容が違っているというところで、私なりに調べたところだと、社会教育主事の方が、他の施設だとそれぞれについているのに、生涯学習センターだけがそういった方の関わりがなかったのも、市の意向から少し外れてしまったのかなというのもあるので、その辺をどうするのかというのを今後話し合いの中に加えていくのかについて教えてください。

## ⇒事務局

社会教育主事につきましては、現在積極的に養成をしております、今後定期的に増やしていく考えがございまして。昨年度1月・2月にちょうど講習会がございまして、そこに生涯学習課から1名派遣いたしまして、その結果1人新しく社会教育士ということで養成することができました。今年度も2名（講習会派遣のための）予算をつけていただきまして、今後もそのようにしていきたいと考えております。

【質疑応答終了】

## 委員長より

再度確認させていただきます。本懇話会の目的と趣旨、今後の検討体制、本懇話会の開催スケジュールについて事務局から説明をいただきましたが、それについてA委員・B委員から質問があり、事務局にお答えいただきました。ということで、今回の事務局の提案の内容で進めていくということですのでよろしいでしょうか。

⇒はい。（委員より）

それから、さきほど事務局から説明がありましたが、現在の指定管理の事業者さんがA評価を受けていて、決してそれを否定するということではないという前提でよろしいですね。要は小山市における生涯学習、そしてそれを進めていくための生涯学習センターのあり方について検討する場であるということ、そのような認識で我々も懇話会に臨んでいくということで、どうぞよろしく願いいたします。

## (5) 事務連絡

次回の第2回懇話会につきましては、5月12日（木）13：15～14：45、小山市立文化センター小ホールで行う予定です。懇話会の資料につきましては、開催通知と併せて別途、事前に送付をさせていただきます。

また、市民の声を聴く機会として、市民対象のオープンフォーラムを5月21日（土）13:00～16:30、小山市立生涯学習センターで予定しております。今回の懇話会とは別のものになりますが、ぜひご参加いただければ幸いです。詳細につきましては、次回会議にてお知らせいたします。

## (6) 閉会

## 小山市立生涯学習センターの連携等に関する運営懇話会委員名簿

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日まで ※敬称略

| No. | 選出区分          | ふりがな<br>氏名           | 役職等   |
|-----|---------------|----------------------|---|
| 1   | 生涯学習関係団体・関係施設 | すずき くみこ<br>鈴木 久美子    | 社会教育委員 委員長  |
| 2   |               | ひきはし みさお<br>引橋 三佐夫   | 生涯学習推進協議会 会長                                      |
| 3   |               | くりはら としこ<br>栗原 要子    | 公民館運営審議会 会長                                       |
| 4   |               | かきざき まさよし<br>柿崎 全良   | 青少年健全育成連絡協議会 会長                                   |
| 5   |               | きし としこ<br>岸 利子       | 生涯学習センター利用者 オカリナアンサンブル小山                          |
| 6   |               | なかの はるなが<br>中野 晴永    | 車屋美術館 館長  |
| 7   |               | やぎ としのり<br>八木 利典     | 小山市自治会連合会 理事                                      |
| 8   |               | きむら かずこ<br>木村 和子     | 小山市小山城南市民交流センター「ゆめまち」指定管理者<br>あさひコミュニティ推進協議会 事務局長 |
| 9   |               | こばり きょうこ<br>小針 協子    | 小山市市民活動センター「おやま〜る」 副センター長                         |
| 10  |               | みやうち こ<br>宮内 せつ子     | 小山商工会議所 女性経営者会 代表                                 |
| 11  |               | ふくもと よしゆき<br>福本 佳之   | 小山駅周辺地区まちづくりプラン検討委員会委員<br>小山商工会議所青年部 直前会長         |
| 12  |               | すずき まさとし<br>鈴木 正俊    | 栃木県教育委員会事務局 下都賀教育事務所<br>ふれあい学習課 副主幹               |
| 13  | 学識経験者         | じんのうち ゆうじ<br>陣内 雄次   | 宇都宮共和大学 シティイブ学部 教授<br>宇都宮大学名誉教授<br>栃木県教育委員会 委員    |
| 14  |               | こだま ひろあき<br>児玉 博昭    | 白鷗大学 法学部 教授<br>栃木県行政改革推進委員会 会長                    |
| 15  |               | いしい だいいちろう<br>石井 大一郎 | 宇都宮大学 地域デザイン科学部<br>コミュニティデザイン学科 准教授               |
| 16  | 市議会議員         | あおき みちこ<br>青木 美智子    | 小山市議会議員   |
| 17  |               | ふくだ こうへい<br>福田 幸平    | 小山市議会議員   |
| 18  |               | しまだ せきお<br>嶋田 積男     | 小山市議会議員   |

